標本棚

私と飛ぶ

魔法のジュータン

川崎市衛生研究所　佐藤 英毅

〈そよ風に乗って〉というフランスギャルのさわやかな歌を口ずさみながら花粉調査で乗せていただいているのは、まるで〈魔法の絨毯〉のような『そよかぜ』というヘリコプターです。

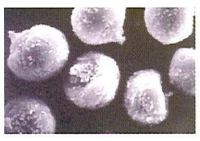
スギ花粉は、そよ風より少々強い〈春一番〉の頃、飛び始めます。国民の15％、関東では25％の方がスギ花粉アレルギー症と言われています。

『そよかぜ号』は、フロントやサイド窓がワイドで、操縦席の足元は透き通る素材になっていますので、自在に操られる絨毯に乗ってフワフワ浮かんでいる気分に浸ります。

操縦は交信もしながら、常時、両手、両足を使っていて、かなりハードなようですが、270km／hの絨毯は「アブラカタブラ」で、アッという間に関東一円を回ります。ヘリの自由飛行範囲は300～1000mとのことですが、川崎市の上空周辺は規制が多く、コンビナートの上は飛べませんし、ほとんどが羽田や横田の制空圏で、通過が認められる程度です。近郊では唯一、この規制の隙間、半径1kmの筒状空間が「みなと未来」の東南にあります。2400m以上は酸素ボンベが必要ですが、1万mでも魔法の絨毯は舞い上がります。羽田から上昇するジャンボ機が突如雲から飛び出してくるのは、クジラの頭のようで圧巻です。

上空でのスギ花粉採集は感度が良く、地上よりかなり早くから多数捕獲されますので、花粉アレルギー症対策に重要な、飛散開始の早期情報提供に極めて有効です。例年、聖バレンタイン日頃からは連日飛散の憂き目に会いますので、薬効の関係で二週間前の二月一日からお医者さんのお世話になると、比較的快適な早春が過ごせます。

スギ花粉は隔年の増減を基本としながらも気象に振り回され、それでも五年毎に極少と極多を繰り返していることが、二十年間、毎週一回、魔法の絨毯に乗って花粉をかき集めたデータから分かりました。



スギ花粉は近年、安定増加傾向でしたが、今年は極少の年となりました。来春は史上一、二番目に多い年となりそうですので、ご注意ください。早めの予防をお推めします。

乱れ飛ぶ

財団法人 日本環境衛生センター顧問　田中 生男

ケンブリッジで第一回都市昆虫学会が開かれた時のこと。親睦会は大きなホールに細長い机が並べられ、大学の生協食堂スタイルよろしく、向かい合う列が幾重にもわたった。夫人同伴の参加者も多く、身動き出来ないほどであった。

メインデッシュは英国らしく、草鞋のような薄く平たい肉で、決してうまいとは言えなかったが、和やかな雰囲気で歓談が始まった。皆さん紳士らしく初めのうちはまじめに話をしていたが、酒がまわるにつれ次第に騒々しさが増した。

何時から用意していたのだろうか、目の前の研究者の蝶ネクタイが突然ピカピカと光の点滅を始めた。それが切っ掛けとなったかのように、急に雰囲気が乱れ始めた。

懇親会案内か何かの紙で折られた飛行機が、どこからともなく一機飛んできたこうなると収拾がつなかい。会場はあちこちで作られた紙飛行機の乱舞となった。

我々の仲間も数人参加していたが、紙飛行機となったらお手の物である。早速折り紙の要領で作ると、遅れまいと騒ぎに加わった。紳士淑女を問わず顔や頭にぶつかる。食べ物の上に落ちるで、直ぐに収まるかと思いきや、かなり長い間続いた。研究発表する姿の研究者からは想像も出来ない出来ごとだった。

こんな子供のような遊び心が研究者の栄養になっているのではないかと可笑しくなった。

マウンテンバイクで跳ぶ

アペックス産業㈱業務課　松下 志郎

自転車で道の無い所を走るのが好きだ。自転車は大事な相棒で、自由を手に入れる道具だった。

マウンテンバイクに跨るようになってから、随分と時が経つ。だが、それは効率の良い移動手段としてで、僕のバイクは単なるシティバイクだった。

初めてバイクを山に連れ出した時、忘れていた自由な感覚を取り戻した。山の山頂から駆け降りてくる時、コーナーを自分の思い通りにクリアする時、何処までも行かれると感じる。大きな段差の手前で、重心を溜めて一気に解き放つと、自転車は重力からも自由になる。自転車は高く跳ぶための道具だ。

害虫と虫塚

筑波大学　草野 忠治

塚は、土を小丘状に盛り上げたもの（土饅頭型）であるが、祭場あるいは特定の信仰の対象として築かれたもの、あるいは人を埋葬するためのものなどがある。

ここで述べる塚は農を守るために駆除した害虫類を慰霊するために作られたもので、虫供養碑あるいは虫塚と呼ばれている。

この塚の上に墓標として石塚を置くものや人骨を埋葬するための墓に似た石塔状のものを地上に安置するものもある。

庶民が死者のために石塔を建てるようになるのは十六世紀（戦国時代）以降のようである。農業生産のために犠牲となった害虫・鳥獣等を慰霊し、成仏させるために供養塔を建立するのは、江戸時代よりであるが、十七世紀～十八世紀頃に建てられたものが多い。

仏教では、最大の罪（梵網教＝ボンモウキョウ）を説いており、田畑の害虫を殺すことも殺生の戒を犯したこととなる。さらに、虫にも霊＝仏性（罪人は、死後に輪廻転生の世界に落ち、虫になっていることが根拠になっているらしい）があり、供養しなければ祟りを受けることがあることを僧達が農民に説いている。この教えが農村に拡がり、害虫を供養する塚、石塚が建てられた。

ここ（写真）で、紹介するのは石川県小松市埴田町の虫塚である。天保十年七月上旬（旧暦）までは、早稲は順調に発育したが、中旬頃よりウンカが大発生し、早稲から晩稲へと次第に枯れ、被害が拡がった。

そこで、村役人の田中三郎右衛門は農民達に虫取り用の木綿の布袋を俵に詰め、捕獲したウンカを入れた布袋を配った。二十三俵になったが、土中に埋め、高さ三十センチ位の塚を作り、その上に虫塚と刻字した円筒状の石塚を安置した。

これは直径三十センチ、高さ一メートル六十センチ位の大きさで、天保十年九月建立とある。殺したウンカ霊の供養（慰霊）のため、後世に再び稲に災いが起こらないために虫塚を建てたという。近くの岩渕町にも類似した石塚がある。

フットサルチーム誕生

アペックス産業㈱　山口 力広

わが社には非公認のフットサルチームがあります。フットサルとは五人制のサッカーのことです。

まだ歴史はとても浅く、二〇〇四年八月の設立で、きっかけは一人の何気ない一言で集まった烏合の衆なのです。そんな烏合の衆も 立派に「ホットチキンスパーズ」というチーム名を背負って頑張っています。

メンバーは社員七人で、内訳は経験者二人、その他は元帰宅部や元柔道部などのボール遊びとは無縁の未経験者五人です。

普段の活動は、試合前の一時間の練習と月に一度位、会社近くのホームグラウンドである児童遊園で、散歩の犬や子供達に混じって、一時間ばかりボールを蹴るというのが活動状況です。

後は、夜ビールを飲みながらワールドサッカーを見て、ポジションや戦術を研究したり、テレビゲームで試合感覚を養ったりと、さまざまな方法で各自が自主練習を行っています。

ここまで読んで、チームワークに疑問をお持ちになった方がいらっしゃると思いますが、そこは普段の仕事で培っているアウンの呼吸でカバーしています！

こんなチームですが、二つの大会のスーパービギナークラスに参加し、輝かしい結果を残しています。スーパービギナークラスといっても、その面々は学生や現役の経験者ばかりの強敵クラス。

その中で最初の大会成績は……と、これが全敗です。ところが、二大会目はなんと二勝一敗一分で二位だったのです！（……ですが 大会側のミスで結果は三位でした）今度は完全優勝を目指していきます！

余談ですが、当チームにはサポーターが全くいないのです。ゼロです。フットサルやメンバーに興味を持った方、老若男女問わず募集しておりますので、まずは当社のホームページにアクセスしてください！

メールにサッカーと一言添えていただければ、詳しい内容をお送りします。

では、レッツゴー!!

☆フットサルは五人制サッカーです。コートの大きさはサッカーの四分の一程度。試合は弾みの少ないボールを使い、二十分ハーフ。メンバー交代や再出場自由。激しい接触プレーが禁止されており、性別、年齢を問わず楽しめ、親子や男女混合チームも少なくありません。

羽音

会員図鑑

●高瀬 大輔
アペックス産業㈱
営業課長

【科属】トカイ科チュウネン属
【形態】東京都出身。入社二年目。害虫防除の営業は全くの初体験。初めて生きた現物と対面した時の心臓バクバクのカルチャーショックは、まだ完全には癒えていない。自称カカア殿下のマンション暮らしというが、実態は不明。
【習性】クルマが趣味で、最近ナビを取り付けた。ちょっと遠出を計画中だが、目下の関心事はダイエット。体質改善目指して毎週テニスに興じている。ただし、実力のほどはこれまた不明。

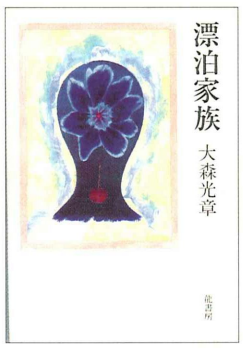
●佐々木 健
アペックス産業㈱
研究開発室

【科属】カントリー科タマケリ属
【形態】神奈川県出身。入社二年目。カエルと寄生虫をこよなく愛す研究マン。自分でビッグバンドを作るほどのジャズ好き。特にカウントベイシーには目がない。最近、アペックスフットサル部「ホットチキンスパーズ」キャプテンに就任。球蹴りにも力が入っている。
【習性】時に自己流の奇妙なダンスを踊る。都会が苦手で買い物などで二時間以上歩いていることが出来ない。将来は山に住みたいと思っている。

触覚BOOK

漂流家族

著者：大森 光章
龍書房　定価 千五百円



ドブネズミの「クルミ」は洋食店で生まれ、ビルの取り壊しで追い出されたのを皮切りに、移住先のホテルで結婚式に乱入して騒ぎを起こし、防鼠工事で閉め出され、以後、料亭では火事や犬や猫と遭遇、蒲鉾工場では粘着トラップと格闘、さらには寺の庫裏ではネズミ同士の縄張り争いに巻き込まれたりと、幾多の試練を経て大人へと成長し、やがて母親になります。

一匹のネズミを通して、ネズミの生態や習性、人間社会とのつながりを見事に描き上げ、動物小説として出色の作品です。

現実にネズミ被害に悩まされている人にとっては、敵を知る最良の素人向けのガイドブックとしてもお薦めです。

むしくいず

★問題★ 3Dマジカル・アイの第二弾です。今号もある英文字一文字です。うまく見えない方は「より目」で見つめていると、突然見えてきますよ。頑張ってください。

◆応募規定 ハガキまたはファクシミリで、答え、住所、氏名、当社との関係を明記の上、ご応募ください。
〒105-0014 東京都港区芝2の23の4
アペックス産業㈱内 APEX CLUB宛
ファクシミリ番号 03-3455-6558
締切りは平成17年2月末日(火)(当日消印有効)
正解者の中から抽選で3名様に記念品を差し上げます。

★前号の正解と当選者(順不同)
正解は『A』でした。
当選者：阿部英雄様、中村久恵様、三浦良介様の３名様です。